

## NEXT 長崎人材育成事業 令和7年度 農業法人視察研修会

1 日 時 令和7年11月4日(火)

2 訪問場所 (株)深山農園、(有)松山ファーム、(農)ながさき南部生産組合

※(農:農事組合法人)

3 参加者 22名(教職員12名、生徒3名、長崎県農業会議2名、農業経営課1名  
特別支援教育課1名、高校教育課3名)

4 目的 関係高校の教職員、生徒及びキャリアサポートスタッフが、本県の意欲的な農業法人を見学・研修し、その業務内容や活動状況を対話・体験することで進路指導・キャリア形成支援の充実を図る。

5 日 程 9:00~9:30 参加者集合、(株)深山農園視察  
9:30~10:30 農業法人との意見交換(深山農園会議室)  
10:50~11:20 (有)松山ファーム視察  
12:00~12:45 (株)雲仙きのご本舗 雲か山か(昼食)  
13:45~14:30 農業法人との意見交換(ながさき南部会議室)  
14:30~15:00 (農)ながさき南部生産組合視察  
~16:30 (株)深山農園到着、解散

### 6 研修内容



深山農園(イチゴハウス)



意見交換の様子



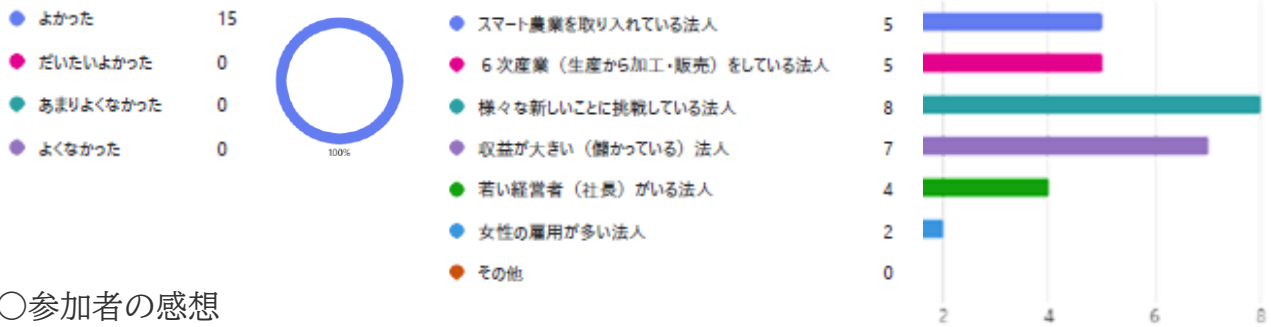
ながさき南部生産組合

### 7 意見交換

- ・訪問した各法人では、「稼げる農業」を実現するため、社長自らが営業活動を行い、価格設定も主体的に行って高値で取引している点が印象的であった。これらは現場訪問を通じて初めて得られる貴重な情報である。
- ・南部生産組合では、30代~40代の若手経営者が中心となって組合を形成し、生産活動を行っている。
- ・若手参入が多い理由は「農業で稼げる」ことである。
- ・経費を差し引いても十分な利益が確保できており、それが若手経営者の高い意欲につながっている。

○アンケート結果（職員対象）

○今回の意見交換会はいかがでしたか？ ○次回の見学先について（2つ回答）



○参加者の感想

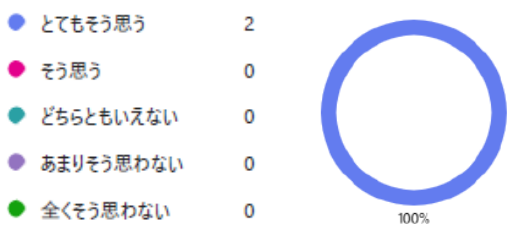
- ・ 障害のある方が働ける可能性を感じることができた。
- ・ 企業訪問では限界があるため現場の見学が出来たことは、今後の就職支援に役立つ。
- ・ 経営に苦しむ米農家や畜産家のニュースが多いため、農業は儲からず厳しいというイメージがあったが、今日見学したところは、どこも真剣な経営努力により利益が出ている。農業は地元で働くことができ、体を動かす健康的な仕事でもあると感じた。
- ・ やりたい事が無く、何が向いているか悩む高校生が多い。農業経験が無い若者でも働ける環境を作り、日本の若者を積極的に採用して大切に育てていただきたいと思った。
- ・ 現場を見学できた事、経営者の方の考え方や現状や今後について話を聞くことができ、とても勉強になった。

○アンケート結果（生徒）

○今回の意見交換会について？ ○自分の将来（進路）について考える機会となったか？



○意見交換では十分な話を聞けましたか？（話せましたか？）



○参加者の感想

- ・ 諫早湾干拓では、ハウスが何百棟も連なっており、その規模感に驚いた。
- ・ 自分で生産した農作物に値段を決める大切さを教えてもらった事です。